

## 発展する若浜小学校

昭和五十年 度 六 年 男 児

若浜小学校ができて間もないころは、朝会で体育館にすわっても、半分も使わなかった。しかし、今年は、学区編制替えて、浜田小学校からたくさんの方だちがはいってきたので、人数が二倍にもふえた。

朝会では、体育館全部を使うようになったし、中間休みの時は、体育館の使用割り当てが決まったし、図書の貸し出しも七日間から二日間になった。これらも人数がたくさんふえたことを示すものである。

学級も新しい友だちがたくさん増え、初めはどんな人かわからないまま、よく知っている人としか付き合わなかったが、今は、みんな仲良くしている。

人数がふえただけでなく、浜田からの児童をおかえるために校舎も大きくなった。そして今も、体育館わきに新校舎を建設中だ。来年度の新生が、学校を去るべく達六

年生より、はるかに多いので建てているのだ。今年から、酒田でも大きい方の学校の仲間入りをした。

よく学校名を聞かれ、答えると、

「若浜って、どこだっけ。」

と、前は質問されることがたびたびあった。が最近は、「元の二中の所ね。」

と、言われる様になった。これは、若浜の名が、酒田にだけこんでいる証拠だと思う。

又、若浜は施設や設備が立派になってきている。図書館は、冊数は少ないが、明るくよく整理されている。理科室、図工室には準備室があり、用具が整っている。児童会室は、児童会活動がしやすい様に、ロッカーやテーブルがある。視聴覚室では、視覚と聴覚を使った勉強ができる。

若浜小学校は、外見的にもきれいだし、新しい。日曜日には、そうじ婦の人が来て、ワックスをかけてくれる。そうじさえきらんとやれば、永遠にきれいだと思う。

ぼくから見て、若浜小学校は、どんどん発展してきていると思う。児童数もふえ、校舎や設備も整ってきた。こ

れからは、勉強もスポーツも、何でもよい学校に成長して  
もらいたいと思う。